

科目名 (Subject)	民法研究 I (基本) (Civil Law I)		
単位数 (Credits)	2 単位	開講時期	後期
担当教員名 (Name)	岩本 尚禧 (IWAMOTO Naoki)	研究室番号 (Office)	516
Office Hours	適宜 (事前にメールにて連絡すること)		
<p>1. 授業目的・方法 (Course objective and method)</p> <p>(1) 授業の目的: この授業では、契約法の基礎理論、とりわけ法律行為・意思表示について理解を深め、現代契約法の問題点を確認することが目的です。また、民法研究 II (発展) での研究に備え、心理学・認知科学・神経科学についても (民法学と関連する限度において) 学習します。</p> <p>(2) 授業の方法: この授業で、報告者の報告に対して質疑応答するゼミ形式にて行われます。</p> <p>2. 授業内容 (Course contents)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各回の授業内容は以下の通りです。 第01週 法律行為①: 基本原理とその歴史 第02週 法律行為②: 「能力」と「行為」の関係 第03週 法律行為③: 具体的事例の検討 第04週 意思表示①: 動機・効果意思・表示意思・表示行為 第05週 意思表示②: 錯誤と詐欺 第06週 意思表示③: 具体的事例の検討 第07週 民法と心理学①: 意思表示法の心理学要素 第08週 民法と心理学②: 「適合性原則」の根拠? 第09週 民法と心理学③: 具体的事例の検討 第10週 中間総括 第11週 民法と認知科学①: 契約法と行動経済学 第12週 民法と認知科学②: 具体的事例の検討 第13週 民法と神経科学①: 認知症の医学的鑑定 第14週 民法と神経科学②: 具体的事例の検討 第15週 総括 <p>3. 使用教材 (Teaching materials)</p> <p>各回の使用教材・参考文献等に関しては、授業の開始時に説明します。</p> <p>4. 成績評価の方法 (Grading)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以下の2点から各割合に応じて評価します。 ①授業の出席率: 40% ②授業の参加態度: 60% <p>5. 成績評価の基準 (Grading Criteria)</p> <p>秀 (100~90): 相互に異なる問題領域から未知の問題点を発見し、その未知の問題に対して、既知の議論から説得的・論理的な解決策を導き出すことができる。</p> <p>優 (89~80): 相互に異なる問題領域から発見される問題点を理解し、その問題点に対して、既知の議論から説得的・論理的な解決策を導き出すことができる。</p> <p>良 (79~70): 相互に異なる問題領域から発見される問題点を理解し、その問題点に対して、既知の議論から解決策を導き出すことができる。</p> <p>可 (69~60): 相互に異なる問題領域から発見される問題点に対して、既知の議論から解決策を導き出すことができる。</p> <p>6. 履修上の注意事項 (Remarks)</p> <p>学部における民法の全単位 (民法基礎 I、民法基礎 II、民法 II、民法 III、民法 IV) を履修していることが望ましいです。なお、「授業内容」は、受講生の希望に応じて変更することがあります。</p>			